

## 2019Japan National Team Report ”選手”



報告者	横浜ジュニアヨットラブ 学年 9年 氏名 鈴木 海翔		
大会名	アジア・オセアニア選手権		
開催地	オマーン ムッサナー		
大会期間	9/30～10/6		
セールNo	JPN 3320	最終順位	48位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温、水温共に高かったです。 上はアブレア 下は海パンのみ
海面(湖面)の特徴や風の傾向	波が結構あって振れは小さく強弱が大きい 潮は比較的強めだった。
セッティングで注意したこと	振れが小さく角度を取りたかったためセールは浅めにした。 マストからしわが出ないようにガラミを調節した。
セーリングで注意したこと	上でも書いたように角度を取りつつスピードを落とさないようにブローの間はシートを角よりブーム1個分くらい入れるようにした。
海上で練習したこと	丁寧で勢いのあるタック クローズでの角度をかせぐ波乗り
実際のスベリはどうか？	角度の面では海外の選手に遅れをとらない走りができた。 スピードは自分でいいと思っていたが置いてかれることが多かった。

スタートは、どうでしたか？	上から出て右に行く展開が上手くできたと思う。
コース戦略はどうでしたか？	風の振れが少ないためどちらの海面にいてもあまり差がなかった。ロングを走り振れタックよりブランケットに入らないようにする事を意識してコースを引いた。
自分より上位の選手との違いは？	ボートスピードとタックをする場所が違った。特にボートスピードの差が大きかった。
国内の練習で役立ったこと	ロールタックとスタート
国内の練習で足りなかったこと	すべりの練習 あとマークやフィニッシュへのアプローチ
印象に残った外国選手は？	THA 1878 weka選手 海外の選手の中でスピードが飛び抜けていてスタートを失敗してもシングルまで追い上げていた。自分が1マークを2位回航したあと、かなりあった差を詰められ気付いたら突き放されていたことが印象に残った理由
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	セッティングや技術面でまだ劣っていると自覚出来た。 まだまだ、上に行くには足りないと感じました。
今後の課題と目標は？	セッティングや自分に合った走り方を自分で見つけられるようにする事 海外の選手に対抗できる技術を身につけること。
JODAへの要望	強化練習を増やしてほしいです。
その他	今までお世話になった皆さん、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会